



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ

2026年1月19日（月）

チョコレート

カカオ産地と協力し、カカオポッドの新たな価値創出を目指す 「カカオポッド コネクトプログラム」始動

第一弾はロッテシティホテル錦糸町で、「Cacao Room」を期間限定オープン
1月20日（火）より宿泊提供開始

株式会社ロッテ（東京都新宿区、代表取締役社長執行役員：中島英樹、以下ロッテ）は、カカオ生産者と協力しながら、カカオポッドの新たな価値の創出を目指す「カカオポッド コネクトプログラム」を始動します。本プログラムによって、お客様に楽しみつつ、カカオの理解を深めてもらう“きっかけ”を作っていきたいと考えています。

第一弾として、通常廃棄されているカカオポッドを「ドライカカオポッド」に加工して、洗練されたインテリアとした活用した「Cacao Room」をロッテシティホテル錦糸町にて期間限定でオープンします。バレンタインシーズンを控え、チョコレートやカカオを取り巻く環境に関心が高まるこの時期、ロッテの新たな取り組みにご注目ください。



カカオポッドランプ

カカオ生産地では、栽培や収穫、発酵作業や選別など多くの人の手を渡ってカカオ豆を生産し、最終的にチョコレートとして消費者へ届けられています。カカオ豆は、およそ40粒ほどのジューシーな果肉に包まれながらカカオの実の中に詰まっています。その実こそが「カカオポッド」です。一方で、不要なカカオポッドは農園などに放置されることがしばしばあり、腐敗し温室効果ガスの発生や、病害虫の温床となっているという指摘もあります。ロッテでは生産者と協力し、これまで未利用だったカカオポッドを、魅力的な形を保持したままドライカカオポッドに加工することで新たな価値を生み出していきます。

本プログラムでは、これからもカカオの新たな楽しみ方や、チョコレート・カカオに対する理解と愛着が醸成されるような、新たなツールを生産地・メーカー・消費者間に創出します。さらに、カカオ産地に新たな収入源や雇用の創出の可能性を追求するなど、カカオに関わる全ての人のつながりを強化していきます。

社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」



ロッテシティホテル錦糸町に「Cacao Room」が期間限定オープン！

本プログラムの第一弾として、ロッテシティホテル錦糸町のデラックスツインルームの1部屋を、株式会社garage（愛知県豊橋市、代表：二村 昌彦）のプロデュースにより、ドライカカオポッドの持つ素材の魅力を存分に活かしてルーム内を装飾。内装から、カカオポッドランプなどのアイテムを散りばめた洗練された空間に改装し、期間限定で展開します。さらに、バレンタインシーズンを直前に控え、チョコレートやカカオをテーマにした期間限定メニューもご提供します。「本物のカカオ体験」をテーマに、カカオをもっと身近に感じていただきながら、上質で洗練された空間をぜひ体験していただければと考えております。予約サイトURL： <https://go-lottecityhotel.reservation.jp/ja/plans/10182663?adults=2>



お部屋では特製のカカオポッドケースとともに、季節に合わせてスタッフが厳選する、ロッテグループのチョコレートをご用意します。カカオニブを使用した「カカオティー」を淹れると、お部屋にカカオの香りがふんわりと漂い、カカオの世界へといざなわれます。夜には、ホテル特製カカオプレートをお部屋にお届けします。2種の生チョコレートでは、それぞれ産地の異なるカカオを使用。カカオが持つ個性に触れる体験を楽しめます。窓いっぱい広がる夜景を眺めながら、カカオの風味や味わいをご堪能ください。



プログラム担当者コメント

ロッテ カカオビジネス開発部 部長 小山 寿之

この度、「カカオポッド コネクトプログラム」を始動できることを大変嬉しく思います。カカオ豆を収穫した後、通常農園で廃棄されてしまうカカオポッドには、そのユニークな形状や色合いに、新たな価値を生み出す可能性も秘めています。本プログラムは、生産者と協力し、工夫を凝らしてカカオポッドを「ドライカカオポッド」に加工することで、お客様にカカオへの理解を深めていただく“きっかけ”を提供し、チョコレートの原料となるカカオが辿る長い道のりにも想いを馳せていただく“つながり”を生むことを目指します。さらに、この取り組みは、カカオ産地に新たな収入源をもたらしたり、雇用創出にもつながる可能性もあると考えています。

第一弾としては、ロッテシティホテル錦糸町での「Cacao Room」の展開やワークショップなどの開催を通じ、カカオの新しい楽しみ方や、チョコレート・カカオへの愛着を深めていただくツールを創出していきます。今後も、生産者・消費者の皆様とのつながりを大切に、カカオの未来に貢献できるよう、プログラムを推進してまいります。